



つながぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和8年5月26日
第74号
江別市教育委員会
総務課・学校教育課

小中一貫教育の第1期のまとめを充実したものに！ ～令和8年度 第1回小中一貫教育担当者会議～

4月24日（金）に今年度最初の小中一貫教育担当者会議が開催され、令和8年度の江別市の小中一貫教育について、市の方針や各中学校区の取組の交流・共有を行いました。

会議冒頭の挨拶の中で、黒川 淳司 教育長から「第二中学校区の先行導入を含めて5年目となる今年度を本市の小中一貫教育の形を創り上げてきた「第1期」とし、よかった点や子どもたちの伸びているところ等について取組を総括して、次の「第2期」につなげていく必要がある。」「小学校では、令和12年度から新学習指導要領の完全実施となり、『裁量の時間』等、様々なことが変わっていく見通しである。そのような中、江別市の小中一貫教育も、「第2期」からは新しい学習指導要領が目指す姿について学び合い、どうやっていくのがより子どもたちの力を伸ばすことにつながっていくのか等について、スポットを当てていくことになる。」との話がありました。

各中学校区では、この間、「目指す子ども像・サブ目標」の実現に向けて、児童生徒や地域の実態・特性等を生かした「系統的な指導」「一貫した指導」「相乗的・補完的な指導」の3本柱の取組を創り上げてきました。また、8つの中学校区では、小・中学校の先生方が連携・協働して各種の実践を積み上げてきており、その成果として小中一貫教育の基盤ができつつあります。

令和8年度は、「第1期」のまとめの年と捉え、それぞれの中学校区の小中一貫教育の基盤を揺るぎないものとするために、昨年度までの実践をさらに充実させていく必要があります。



担当者会議で実践を交流する担当者の皆さん

～乗り入れ授業の好事例を交流～

その他、会議では乗り入れ授業の実践発表と「えべつスマート4ルール」の見直しについての情報提供が行われました。特に、乗り入れ授業については、今年度から先生方が他校に乗り入れる際にタクシーチケットの活用が可能となったことから、第三中学校区（第4学年音楽科「箏」の指導）と中央中学校区（第5学年体育科「新体カテスト」の指導）の実践についての情報を共有したところからです。どちらも「中1ギャップの緩和」の他に、様々な効果を挙げています。

第三中学校区

- 小中の先生方で和楽器指導の研修・・・系統的な指導と小中の先生方の協働性に・・・
- 児童・保護者の小中一貫教育に対する理解・・・（他に小5は合同新体カテストも）

中1ギャップの緩和の他に・・・ 中央中学校区

- 小学生の種目への意欲、記録の向上・・・
- 小の先生の研修と協働性に・・・
- 一斉公開日での実施で保護者・地域の理解・・・

複数の効果につながる「乗り入れ授業」の取組

小中一貫教育 具体の取組が始まっています！

～第一・第三中学校区合同挨拶運動と 第二中学校区の小3中学校探検～

5月12日（火）に第一中学校区（第一中、上江別小、第一小）と第三中学校区（第三中、いずみ野小、北光小、第一小）で、今年度初めての小中合同挨拶運動が行われました。以前は別々に行っていた取組ですが、2つの中学校区で「目指す子ども像」やスタンダードを統一したことから、同じ日に実施することになりました。

中学校の生徒会役員が小学校を訪れ、児童会の子どもたちと一緒に、登校してきた小学生に「おはようございます」と声掛けを行いました。小学1年生の元気な挨拶に対して、中学生も自然と笑顔になる等、とても微笑ましい光景が見られました。年齢が離れた小学校低学年と中学生の交流は、小中一貫教育ならではの取組です。



第三中といずみ野小で挨拶！



第一中・第三中と第一小で挨拶！



第一中と上江別小で挨拶！



第二小の3年生が第二中探検！

また、同じ5月12日（火）には、第二小の3年生が社会科の「まち探検」の学習の一環で、中学校を訪れました。中学校の教頭先生が学校の概要を説明してくれたり、子どもたちの質問に答えてくれたりしました。3年生の子どもたちは、「かっこいい学校だったね」「楽しかったね」と嬉しそうに話していました。早い段階から中学校の様子を知ることが、子どもたちにとって貴重な体験です。

「地域とともにある学校づくり」を進めるために ～えべつ型コミュニティ・スクール(CS)始動！

4月23日（木）の江別市教育委員会議において、各CSから新たに推薦があった31名の学校運営委員の方々が承認され、合計235名の委員の皆さんで今年度の「えべつ型CS」がスタートしました。各CSでは、1回目の学校運営委員会が開催され、学校経営方針の承認や今年度の活動計画、学校支援ボランティアの活用に関わる方向性、学校評価計画、地域学校協働活動等についての議題で協議が行われています。今年度も、保護者や地域の方々、関係機関の方々等、幅広い分野の皆様のお力をお借りして、子どもたちの学びと育ちに対する支援の輪を広げて「地域とともにある学校づくり」を進めていきます。



地学協働について熟議(文京台小)